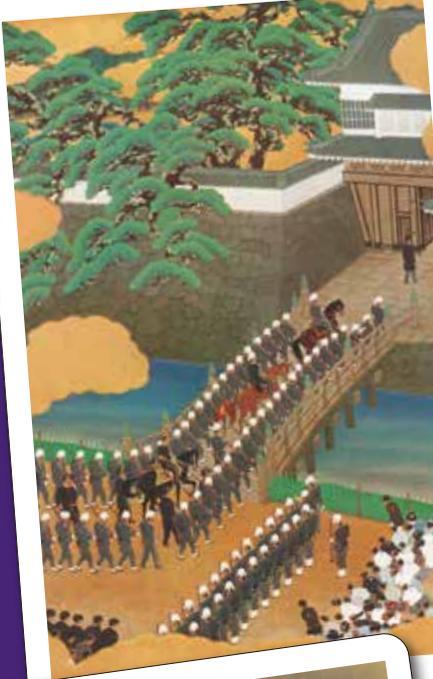


特別展

明治天皇と南洲翁

(聖徳記念絵画館蔵)



(宮内庁宮内公文書館蔵)



(宮内庁宮内公文書館蔵)



(聖徳記念絵画館蔵)

《開催のご挨拶》

令和4年は明治天皇の崩御から110年の年であり、また、明治天皇の六大巡幸の最初の巡幸で、近畿・中国・九州・四国を訪れ、鹿児島においても10泊11日を過ごされた明治5年の西国巡幸から150年の節目の年です。

明治天皇に近代国家に相応しい立派な国家元首にお成りいただくため西郷南洲翁が尽力した宮中改革、新政府の開化政策に不満を持つ島津久光公の鎮静化と説得のみならず、国内外に開化の進展をアピールするために、その象徴である天皇を民衆が拝謁した明治5年の西国巡幸、明治6年の習志野原演習行幸を取り上げ、明治天皇と西郷南洲翁の君臣水魚の交わりを紹介します。

〈令和4年〉10月4日 火 ～ 〈令和5年〉1月15日 日 ◆会場◆鹿児島市西郷南洲顕彰館

明治5年西国巡幸

明治5年(1872)5月23日～7月12日、明治天皇は近畿・中国・九州・四国を巡幸。参議西郷隆盛以下約70名が供奉・随行し、鹿児島には6月22日から7月2日まで滞在。神代三陵を遙拝され、県庁など各地の視察、海陸対抗操練の天覧、市民による踊りの観覧などが行われた。



明治天皇御紀附図稿本「中国西国巡幸鹿児島着御」(宮内庁宮内公文書館蔵)



明治天皇遺品「御箸」「扇子」「室内履き」



「西郷隆盛宛板垣与三次書翰」複製
(原資料個人蔵)

習志野原演習行幸

明治6年(1873)4月29日、明治天皇は下総国千葉県大和田村へ行幸、30日には篠原国幹を指揮長官として近衛兵による天覧演習が行われた。5月13日、天皇より勅諭をもって、この地(旧徳川幕府の軍馬育成の放牧地)に「習志野ノ原」の名を賜り、これが「習志野」の地名の発祥とされている。



明治天皇御紀附図稿本「習志野原演習行幸」(宮内庁宮内公文書館蔵)



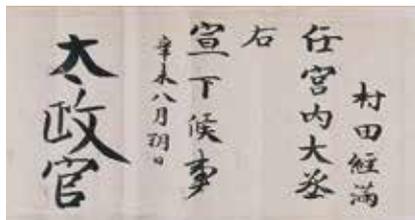
明治天皇御宸筆「習志野ノ原」
(宮内庁宮内公文書館蔵)



篠原国幹遺品軍服

宮中改革

西郷隆盛は明治4年(1871)、宮内省および宮中の改革を実施。側近に吉井友実、村田新八、山岡鉄舟、高島鞆之助等が任用された。見識が高く清廉・剛健の士を迎え、もともと天性の稟質を備えておられた明治天皇を、近代国家の新たな君主に相応しい存在へと導いた。



村田新八「太政官辞令書」複製
(原資料 村田新八遺品保存会所蔵)

※宮内庁宮内公文書館所蔵資料の展示はパネル展示です。

特別展
講演会
【14:00～15:30】

●12月10日(土) 糸野 陽子氏「明治天皇と西郷南洲翁」

鹿児島市
西郷南洲顕彰館

- 住所：鹿児島市上竜尾町2-1
- TEL：099-247-1100
- 開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時40分まで)
- 入館料：一般200円、小・中学生100円、団体20名以上2割引
- 休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日、12/29～1/1)